

「海と日本人に関する意識調査」発表 海への「愛着」ランキング38位の愛知…関心低下が明らかに | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホ Ab キーワード検索
ー 知 ベ ポ 組
ム ら シ ー 情
せ ト ト 報

レポート 2024.08.02

「海と日本人に関する意識調査」発表
海への「愛着」ランキング38位の愛知…関心低下が明らかに

日本財団

海と日本プロジェクト愛知

海と日本愛知

アーカイブ



三河湾や伊勢湾などに囲まれた愛知県。海と野山と都市のバランスよい構成が特色です。養殖など沿岸漁業がさかんで、特にあさり類、くるまえばは全国でも有数の漁獲量を誇ります。
「海と日本プロジェクトin愛知県」ではこのような愛知の海の豊かさや多様性を伝えることで皆さんに興味を持ってもらい、海と共生するムーブメントを起こすことを目的に活動しています。



Table showing '海への愛着' (Love for the Sea) ranking by prefecture. Aichi is ranked 38th with a score of 145.3. The table lists 47 prefectures with their respective scores.

日本財団は7月15日の「海の日」を前に、海に関する意識調査を実施。その結果を7月11日に発表しました。この意識調査は、海の恩恵を受けて生活をしている日本人が海に対して持っている意識や行動の実態を明らかにしたものです。

「海は大切」と思いながらも好意度は低下

Pick up



おやつ感覚で食...

「海と日本人に関する意識調査」発表 海への「愛着」ランキング38位の愛知...関心低下が明らかに | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- イベント
- レポート
- 番組情報
- 検索

「大切」と認識しながらも好感度は下がっている

「海は大切な存在だ」の回答は約7割。一方で「海が好きだ」と答えた人は約4割と「大切」と認識しながらも、好感度は下がっています。

特に20代、30代の海への意識が低く、子どもへの影響も懸念されています。一方で、高校生や小学生は海への関心が高く、75%の小学生が「海に行きたい」と答えています。

おすすめタグ

- 自由研究
- SDGs
- 海と日本愛知2022
- 海と日本愛知
- 蒲郡市
- 海と日本プロジェクト愛知
- ごみ拾い
- テレビ愛知
- 海と日本
- 海と日本プロジェクト

順位	都道府県	スコア
1	沖縄県	262.3
2	長崎県	201.8
3	宮崎県	193.5
4	福岡県	191.9
5	神奈川県	188.4
6	東京都	187.3
7	兵庫県	185.8
8	高知県	183.3
9	福井県	176.9
10	香川県	175.7
11	埼玉県	173.1
12	山形県	172.7
13	和歌山県	172.0
16	岩手県	168.2
17	青森県	168.1
18	新潟県	167.7
19	熊本県	167.4
20	愛媛県	167.3
21	大阪府	166.8
22	茨城県	166.5
23	北海道	166.4
24	大分県	165.2
25	広島県	163.6
26	鳥根県	162.6
27	奈良県	161.3
28	山口県	160.8
31	千葉県	154.3
32	長野県	153.3
33	鳥取県	152.8
34	佐賀県	152.4
35	秋田県	151.8
36	静岡県	147.6
37	三重県	146.3
38	愛知県	145.3
39	岡山県	144.0
40	京都府	142.9
41	徳島県	141.3
42	山梨県	138.9
43	富山県	138.6
46	栃木県	132.1
47	群馬県	130.4

海への愛着 愛知県38位

ちなみに海への「愛着」ランキングで、愛知県は38位でした。

海洋問題の認知度は大幅に減少

「海と日本人に関する意識調査」発表 海への「愛着」ランキング38位の愛知...関心低下が明らかに | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- イベント
- レポート
- 番組情報

「海が大切である」という認識がある一方で認知度が低下している

海洋問題の認知度は、2022年比で全体的に-10ポイントから-15ポイントと大幅に減少しています。しかし「鍵となる若い世代」の高校生の結果では「海が好きだ」「海に行きたい」と、全体に比べて海に対して前向きな意識を持って行動しているようです。



2026.04.03

世界初！複数の無人運航船を陸上から同時に支援 | 日本財団「MEGURI2040」が加速させる海運DXと社会実装の最前線



日本財団常務理事の海野光行さん：

「決して楽観視できる数字ではありません。逆に大変憂慮している数字だと思います。今の時点から小学生、中学生、高校生を含めて海の魅力を伝えられるような施策を打っていく必要があります」

また「小学生の75%が海に行きたがっていますが、子どもの体験というのは社会経済的状況に影響を受けます」ともコメント。臨

「海と日本人に関する意識調査」発表 海への「愛着」ランキング38位の愛知...関心低下が明らかに | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホーム

About

お知らせ

イベント

レポート

番組情報



記事シェアしよう

Facebook

X

LINE

ニュースを共有

関連リンク



レポート 2026.02.09

おやつ感覚で食べられる”炙りさんま 甘露煮仕立て”まもなく発売！



レポート 2026.02.06

【海ノ民話アニメーション】南知多町・日間賀島につたわる「たこあみだ地蔵」完成！小学校で上映会